

国道157号 武蔵地区歩道拡幅 4月1日供用開始！ ～「近江町いちば館」グランドオープンに向け準備万端！～

金沢河川国道事務所では、国道157号武蔵交差点において、近江町の再開発事業と一体となって、歩道の拡幅・無電柱化・地下道「むさしクロスピア」の延伸・上屋付きバス停留所の整備を進めてきました。このたび、再開発ビルのオープンに先駆けて、歩道、地下道及びバス停留所の供用開始をお知らせします。

◆供用開始日◆

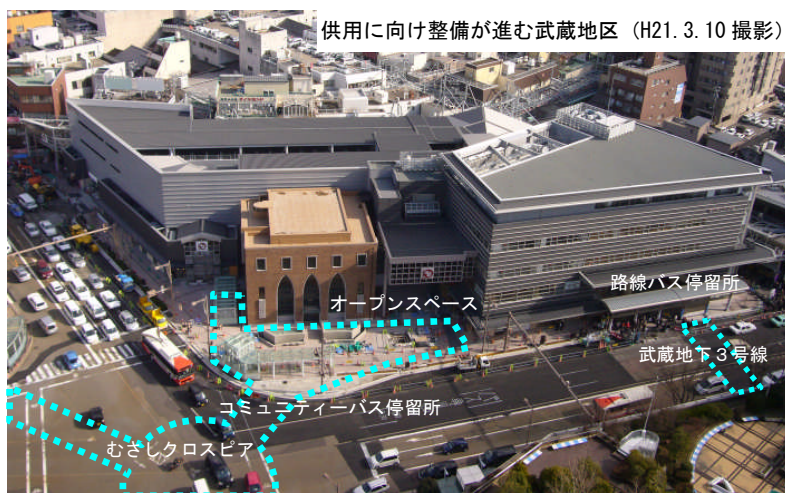
平成21年4月1日（水） ※注意：「近江町いちば館」のグランドオープンではありません。
（バスロケーションシステムの本格運用開始は、平成21年3月20日（金））

◆今回の供用箇所◆

金沢市青草町～金沢市下堤町 L=200m （詳細位置は下図参照）

◆整備内容◆

- 歩道の整備・美しい街並形成
 - ・バリアフリー化された広幅の歩道
 - ・無電柱化
 - ・歩道の無散水融雪装置の整備
- 地域の賑わい創出
 - ・路線バス及びコミュニティバスの上屋付き停留所の整備
（金沢ふらっとバス「材木ルート」の乗降場が旧ダイエー裏から北國銀行前に変更になります。）
 - ・屋外では全国でも珍しい大型液晶モニター2機によるバスロケーションシステムの整備（北陸鉄道）
 - ・オープンスペースの整備
- 武蔵ヶ辻における東西の連絡性向上
 - ・既存地下道「むさしクロスピア」の延伸、エレベーターの整備
 - ・新たな地下道の整備（武蔵ヶ辻第四地区市街地再開発組合）



問い合わせ先：

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 調査第二課長 吉田 英治
住所：金沢市西念4丁目23番5号 TEL：(076)264-9912(調査第二課ダイヤルイン)
北陸鉄道株式会社（バスロケーションシステム）
企画部 南部 敬祐 住所：金沢市割出町556 TEL：(076)237-8113

1. 事業実施の背景

国道157号香林坊拡幅事業は、これまで下堤町～片町の歩道拡幅事業を実施してきており、歩道拡幅事業としては、武蔵、野町地区を残すのみとなっていました。

武蔵地区は、市街地再開発事業（近江町周辺：武蔵ヶ辻第四地区）が実施中であり、金沢河川国道事務所は再開発事業と一体となった歩道整備を実施することで、歩行者の安全性・利便性を確保するだけでなく、良好な景観の形成や地域の賑わいの場の創出など、金沢市の核となるまちづくりを支援しています。

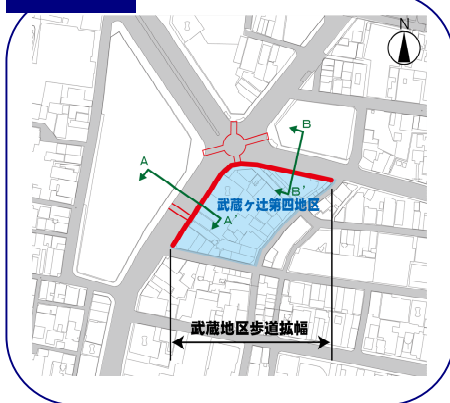
2. 武蔵地区歩道拡幅整備により期待される効果

●歩道の整備・美しい街並形成

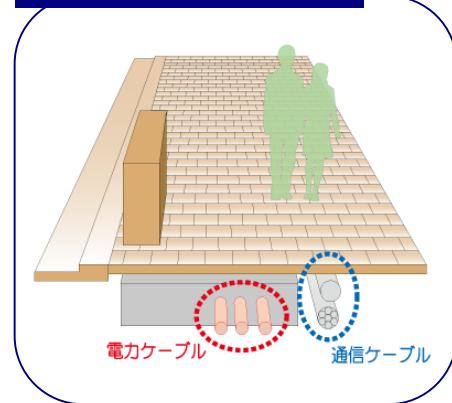
狭くてすれ違いが困難であった歩道が、幅4.5～5.0m(セットバック部を含む)に拡幅され、ゆったりと歩きやすい歩道になります。また、歩道には無散水融雪装置が整備され、冬季でも安全に通行できます。

さらに、これまで歩道に設置されていた電柱や電線を歩道の下へ収容し無電柱化しました。これにより、電線・電柱の無い良好な景観が形成されます。

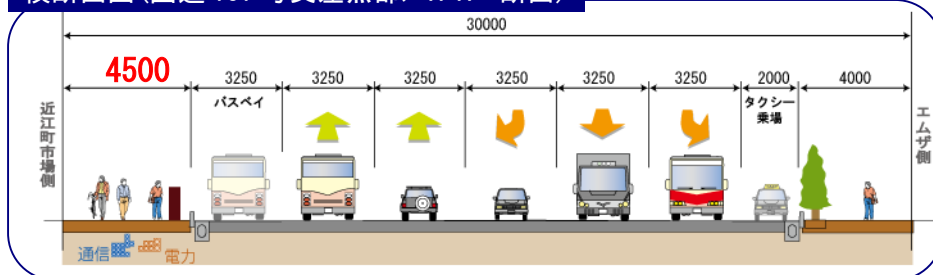
位置図



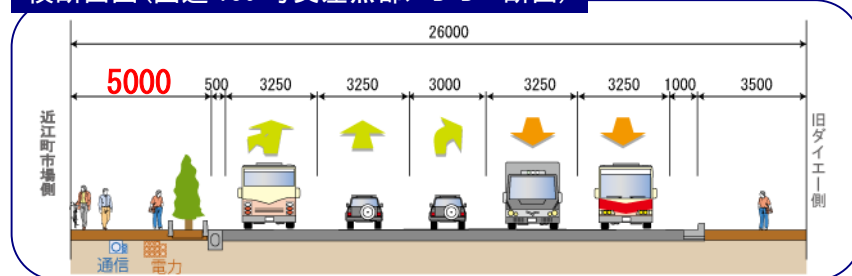
無電柱化整備イメージ



横断面図(国道157号交差点部/A-A'断面)



横断面図(国道159号交差点部/B-B'断面)



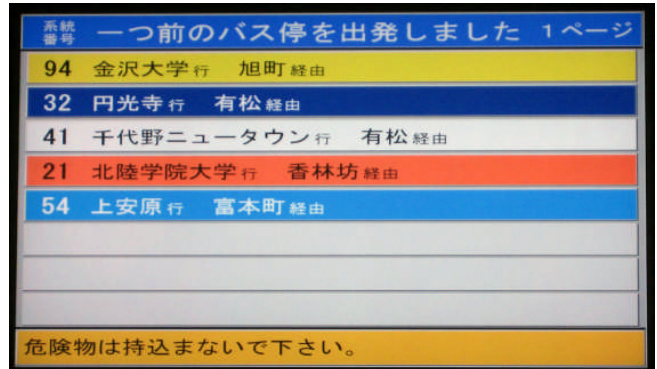
●地域の賑わい創出

路線バス等の停留所に両側張出し形式の上屋が整備され、また、曳家された北國銀行前にもコミュニティバス「金沢ふらっとバス」の上屋付き停留所が整備されます。これまでバス待ちで混雑していた停留所が、バス待ちスペースが確保された快適な停留所に生まれ変わります。

また、屋外では全国でも珍しい大型液晶モニター2機によるバスロケーションシステムが設置され、各バス事業者の時刻表スペースを集約し、バス利用者に分かりやすい情報を発信できるようになり、利便性が一層向上します。

さらに、北國銀行前には、地上・地下ともにオープンスペースが整備されます。地下のオープンスペースには展示ブースも整備され、地域情報の発信やイベントなどに利用され、地域の賑わいの場を創出することが期待されます。

路線バス停留所整備イメージ



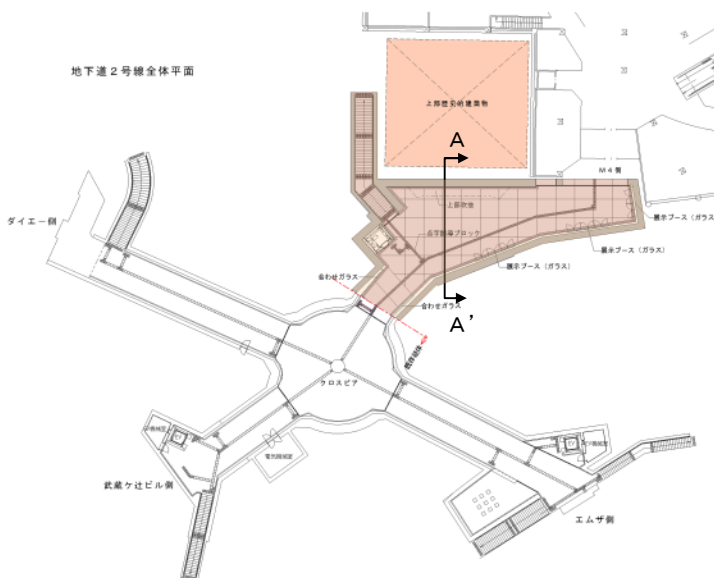
※実際のモニター画面

●武蔵ヶ辻における東西の連絡性向上

現在の「むさしクロスピア」を近江町側に延伸し、「近江町いちば館」の地下と直結します。また、新しく整備される「武蔵地下3号線」により、「名鉄エムザ」と「近江町いちば館」が地下道でつながります。これらの整備により、武蔵ヶ辻における東西の連絡性・回遊性がさらに高まります。

「むさしクロスピア」延伸(武蔵地下2号線)整備イメージ

地下全体平面図



A-A' 断面図

